

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 3月 12日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」恵庭校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		運動等は廊下や空きスペースで行っている。	利用者が増えて来た時の対応は職員間で相談していく。
	②	職員の配置数は適切である	3		配置数は適切。	今後利用者様増となれば職員増も考えられる。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		個室等、見て分かりやすいように絵等を提示している。	駐車場までお迎えに行く等の工夫が必要となる。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		空きスペースも使うように工夫している。	職員間で打合せをよりスムーズに支援をすすめられるようにしていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3		業務改善については、話し合いの場を設けている。	今後も空き時間等を作り、継続していく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		現在、実施中。	日頃から保護者様とは連携しながら進めて行く。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		現在、実施中。	来年度に向け、会報等で保護者様には、周知していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	行政等に報告を行う予定。	行政等に報告を行い、それを踏まえ、改善、連携等に繋げる。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		職員間でケース会議	Zoom テーマ研修参加
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3		適時、職員間での話し合いの場を設けている。	保護者様には、校舎に望むことをすり合わせながら計画作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		アセスメントツールを使用しながら、確認を取っている。	より細かな、利用者一人ひとりの様子がわかるアセスメントも必要となる場合もあるの

提供					で、口頭での打ち合わせになることもある。	
	⑬	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3		保護者様が分かりやすいように具体的に設定し、説明させて頂いている。	計画等、具体的に支援内容を表示している。
	⑭	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3		支援前、後には打合せ、振り返り等、確認をしながら行っている。	保護者様には、振り返り等で説明させて頂いている。
	⑮	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		適時、話会う場を設け、話合い、立案している。	立案したことは、保護者様に説明させて頂いている。
	⑯	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		適時、話会う場を設け、工夫している。	ご家庭での様子等を聞き、今必要な事を説明させて頂きながら、進めている。
	⑰	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3		小集団を予定している。	小集団については、計画には載せてはいないが、保護者様には、必要に応じてお話している。今後は計画等に入れていく。
	⑱	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		打合せは、必ず行っている。	流れ、動きについては常に打合せをしている。
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		振り返り、今後についての打合せは、必ず行っている。	振り返りを行うことで、引継ぎをしたり、次に繋がるように話し合いをしている。
	⑳	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		必ず記録は記入している。	ケース会議等では、記録を見ながら、打ち合わせをしている。
	㉑	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		3	これから行う予定。	達成、継続等の判断に必要なとなっている。
関係機関や	㉒	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		児発管が出席している。	児発管が出席している。
	㉓	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		3	児発管が出席している。	発達支援センター相談支援室を通してにな

保護者との連携					るので、直接の連携にはつながっていない。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		3	現在対象児はいない。	今後、必要があれば連携を考えていきたい。
	㉕	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3	現在対象児はいない。	今後、必要があれば連携を考えていきたい。
	㉖	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3	移行支援対象児の現在利用はない。	今後、対象児の利用があれば情報共有等を行えるのが理想。
	㉗	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3	移行支援対象児の現在利用はない。	今後、対象児の利用があれば情報共有等を行えるのが理想。
	㉘	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		担当者会議等を行っている。	モニタリング等で話をする機会があるので、何かあればその時に助言を頂いている。
	㉙	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		3	周知等でお話する機会はある。	今後、必要に応じ、イベント等での交流も視野に入れる。
保護者への説明責	㉚	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3		定期的に行われる会議に出席している。	地域を知る機会になるので、なるべく参加している。
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		振り返りでは、必ずその日の様子をお話をし次に向けてのお話もさせて頂いている。	ご家庭での状況をお聞きする等、連携を進めている。
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3		保護者からの相談等は行っている。	ペアレントとトレーニングは行ってはいないが、状況、相談は行っている。
保護者への説明責	㉝	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		契約時に説明している。	契約時に説明させて頂いたのと、その都度説明はさせて頂いている。
	㉞	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援	3		保護者のニーズを踏まえて上での個別支援計画を作成している。支援内容については、日	計画作成時の説明はもとより、日頃から利用者様の状況説明を行っている。

任 等		内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている			頃からお話させて頂いている。	
	⑳	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		定期的ではないが、何かあるごとに相談は受けている。	こちらからも最近の様子をお聞きし、お話をさせて頂くことはある。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	茶話会等、検討中	必要に応じ、茶話会等、視野に入れ、イベント等もkジャンが得ている。
	㉒	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		日程、時間調整し行っている。	日程に関しては、あまり日が開かないように調整している。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		今後発信していく予定。	定期的に発行は分からないが、行事や訓練のお知らせはしていきたい。
	㉔	個人情報の取扱いに十分注意している	3		一人ひとりファイリング等をし、掲示物にも十分注意している。	写真の掲載等、保護者様に確認している。(顔、名前は載せない等)
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		細かく、具体的に行っている。	分かりやすいように表示するなどの工夫をしている。
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		施設見学会実施。	イベント等、今後、視野に入れ考えて行きたい。
非 常 時 等 の 対 応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2		マニュアル等は作成している。今年度は地震、火災実施。	来年度は、会報等で周知をしていきたい。
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		訓練は実施している。	来年度も実施する予定。
	㉙	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		契約時に確認済。	契約時に確認済。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3	今のところ対象児はいない。が契約時に保護者へは確認をしている。	必要に応じて、対応していく。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		ケース会議等で行って行く。	実際に施設内を想定して、シュミレーションしていく。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		虐待防止研修等参加。	職員間でも共有しながら進めて行く。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3		身体拘束を必要とする対象者はいないが、必要となる時のことを考え、確認しながら進める。	必要となった時には、保護者、利用者の理解を得て進める。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年3月12日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」恵庭校

保護者等数（児童数）：2 回収数：2 割合：100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2				運動スペース（体感が弱い）と言われている。	空きスペースで運動も可能。必要に応じて行う。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2				担当指導員について。	慣れるまでは、同じ指導員で行う。慣れてきた時点で他の指導員も支援を行う。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2				落ち着いて座っていられるか。	本人には目で見ても分かりやすいように提示。支援の内容も説明。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2				施設内は見学をして頂いている。	年齢により、机、椅子等も変えている。刺激のない空間。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2				契約時にお話を聞いている。同年齢の子と同じことが出来るように。	保護者のニーズ、今必要な支援を入れ作成している。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2				保護者様にも具体的に見通しを立てて説明している。意見等は今のところない。	アセスメント等利用者様に必要な支援内容を具体的に表示している。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2				振り返り時にはお話をさせて頂いている。	出来たこと、継続すること等、細かくお話させて頂いている。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2				言葉のやり取りについて	プログラムは固定化しないように、保護者様と連携し

							ながら行っている。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1			1	保護者からの意見は今のところない。	必要に応じて、視野に入れながら、考えて行く。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2				了承はして頂いているので、今のところ意見はない。	契約時説明はさせて頂いているが、その都度、お伝えしている。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2				ご要望をお聞きしながら、すすめている。今のところ意見等はない。	計画が出来た時点で、説明はさせて頂いている。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1			1	回答には分からないとあるが、今後、意見の確認をしていく。	その都度、相談、要望はお受けしている。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2				振り返り等でお伝えしているので、意見等は今のところない。	振り返り、相談等で、お話はさせて頂いている。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2				相談はお受けしている。	時間を設け、お話はさせて頂いている。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			2		まだ入ったばかりなので。	今後、茶話会などを視野に入れ進めて行く。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2				相談対応についての意見等は今のところない。	日程、時間の調整を行い、迅速に行っている。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2				常にお声掛けをさせて頂いているので、意見等は今のところない。	お迎え時のお声掛けをし、話をしやすい雰囲気は作っている。今後、会報も視野に入れていく。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか		2			ご意見等、有無確認をしていく。	HP等で行っている。今後、会報についても進めて行きたい。評価結果

							はこれからになります。	
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2				写真掲載等、確認を取っている。今のところご意見等はない。	ファイリング等、掲示物には注意をしている。
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2				契約時に説明させて頂いている。今のところご意見はない。	マニュアル作成は行っている。保護者への説明は、今後、していきたい。
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	1			保護者様には、会報等で説明していく。	訓練は実施している。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	2				行きたいと言っている。	笑顔も見られ、帰りたくないと言う時もある。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	2				要望等お聞きしている。今のところご意見はない。	常に保護者様の意見を聞きながら進めている。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。